

編集後記

今号は、立命館大学国際平和ミュージアム平和教育研究センターの研究プロジェクト「自衛隊基地の地域社会史」で取り組んで来た、自衛隊基地と地域との関係についての研究成果を巻頭特集としています。また花崎皋平氏、原田公久枝氏の「生きる場の思想」関連講演、1969年の反戦イベント「ハンバク」等の共同研究、附属校での平和教育実践など、世界的なコロナウイルス感染状況の下で地道に進められている各研究プロジェクトの成果が纏められています。寄稿論文は日本軍占領下の性管理・性暴力の実態、「平和産業」概念の戦前・戦後における変容過程、戦後の日本共産党の路線対立・分裂が平和運動に与えた影響と、現在の日本における「平和」概念の成り立ちや変容過程を論じた意欲的な論考が揃いました。ご味読下さい。

2022年2月のロシア軍によるウクライナ侵攻から既に

1年が経過し、各国で軍拡の動きが顕在化し、危機的な状況は収束の糸口も見えません。今年2月3日にはトルコ・シリア国境付近でM7.5の大地震が発生し、2月18日現在で死者が4万6,000人に達しています（毎日新聞）。改めて「平和」構築の意義が問い直されています。現在休館中の本学国際平和ミュージアムは2023年9月にリニューアルオープンしますが、次代を担う若い世代が厳しい現状と向き合い、視野を広げ深く考える姿勢を養える場所としていきたいと考えています。変わらぬご支援をお願い致します。

田中 聡 (編集委員、
立命館大学国際平和ミュージアム
平和教育研究センター運営委員)

投稿へのお誘い

第25号から原稿執筆・投稿要項が変わります。
ご応募に際し、ご確認ください。

1. 立命館平和研究—立命館大学国際平和ミュージアム
紀要一では、以下にあげるような、広義の平和に関
する研究論文又は学術実践報告の投稿を求めます。

- ・平和に関する学術研究
- ・平和に関する教育実践報告
- ・博物館活動
- ・博学連携

2. 種類と分量

掲載記事の種類と分量は、下記のとおりとし、編
集委員会で決定、または承認されたものとします。

フォーマットは40字×30行とします。

- | | |
|--------|-----------------|
| ①論文 | 12,000字～40,000字 |
| ②資料紹介 | 4,000字～20,000字 |
| ③研究ノート | 4,000字～16,000字 |
| ④書評 | 4,000字～8,000字 |
| ⑤調査・研究 | 4,000字～20,000字 |
| ⑥実践報告 | 4,000字～20,000字 |
| ⑦研究展望 | 4,000字～12,000字 |

応募原稿は、上記のいずれかに該当するものと
します。他の出版物に掲載または採録されたものは
採用しません。二重投稿は禁止します。

※上記文字数には、本文、注、スペース、写真、
図表等を含みます。

※分量を超えた原稿は審査対象外として査読を経
ずに返却することがあります。

3. 言語

原則として日本語、横書き、テキスト形式によるもの。
英文の原稿については、事前に編集委員会にご相
談ください。

4. スケジュール

7月第1土曜日…執筆者登録(エントリー)締切り
以下の情報を郵送・ファックス・Eメールのい
ずれかでお送りください。

- ①氏名、②所属、③連絡先、④原稿の種類・分量、
⑤題名、⑥日本語要旨(200字程度)

↓

9月末日…原稿締切り

※受取方法：ハードコピーは郵送。封筒に朱書き
で「立命館平和研究原稿在中」と明記する。

※提出物：完成原稿と日本語要旨(200字程度)
と英語タイトルと英語要旨(250語程度)をハ
ードコピーとデータ(USBかメール添付)両方
で提出。

↓

3月上旬…刊行(予定)

5. 投稿原稿については、編集委員会が審議し、掲載、
一部書き直し、返却(掲載不可)などの結果を原
稿締切り後3ヵ月以内に投稿者に連絡します。

6. 論文に画像を掲載するなど、著作権許諾が必要な記
事については投稿者が責任を持って許諾を得ること。

7. 備考

原稿料はお出ししません。

掲載原稿1編につき、本誌5部、抜刷り30部を進
呈します。

8. 原稿提出先・お問合せ先

立命館大学国際平和ミュージアム

立命館平和研究編集委員会

〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1

TEL.: 075-465-8151 FAX.: 075-465-7899

Email: peaceins@st.ritsumei.ac.jp